















久下神社
付近の鎮守。16社が合祀されて現
在の形になっている。



























地図 航空写真

鬼林稲荷大明神

2月上旬には初午祭が行われるが、縁起不明。

東方一里塚跡

馬頭観音の向かいに、石碑はなく一本の木があるのが東方一里塚があった場所と思われる。

馬頭観音

馬への感謝と祈りが込められているようである。そもそも馬頭観音とは、近世以降は馬が急死した路傍や芝先(馬捨場)などに馬頭観音像を建てるが多くなった。





愛宕神社

楡山神社の摂社であり、同一の氏子によって護持されている。江戸時代までは八町八反の広大な社叢をもち、火防などの信仰がある。

御嶽神社

境内には一心行者記念碑がある。



常夜灯

天保11年(1840)の建立で、宿場の西口にあった。透かしの「三」はこの常夜燈を立てた富士講の講印。宿場の発展を願い、天下泰平、国土安眠、五穀豊穡と刻まれている。

旧田中藤左衛門商店

当蔵元は近江商人であり享保元年(1716)、屋号「十一屋」としてこの地に創業。約950坪の敷地に本屋、店蔵、酒蔵、精米倉などの建物があり、古いものは幕末の物と推定される。平成16年(2004)廃業により300年の歴史を閉じた。

飯島本陣跡

宝暦2年(1752)より明治3年(1871)まで本陣職を務めた。本陣の一部は印刷所の事務所裏手に現存し、上段の間、次の間、入側が古色を帯びて保存されている

呑龍院

常夜燈(西口)の向かいにあり、真っ赤に塗られた呑龍院鐘楼は人目を引く。境内には子育て地蔵がある。









地図 航空写真

普濟寺

岡部六弥太が栄朝禅師の徳から建立した寺。
本尊は十一面観音と一百体観音。栄朝は栄西
を師事し、禅宗を広く布教した。

源勝院

源勝院(曹洞宗)は、岡部の地を領地とした安部家の
菩提寺としてつくられた寺で、境内墓地の一角に2代
信盛から13代信寶まで、12基の屋根付位牌形の墓碑
が、東向きに南から北へ世代順に並んでいる。

岡部神社

本殿には歓喜天の本像が安置されている。
岡部六弥太忠澄の祈願所とも言われ、寿永年間忠澄は
一の谷の戦功を感謝し、記念に杉を植栽したと伝えら
れている。

観音寺

岡部神社

白蓮寺

円通院

源勝院

岡部(北)

梶谷歯科

地図データ ©2013 Google, ZENRIN 利用規約









滝岡橋

小山川に架かる橋で、起源は江戸時代からの渡し(渡船場)である。橋は、花崗岩でできている。
橋の名前は、本庄市滝瀬の「滝」と、岡部町の「岡」の一字をとりつけられた。



地図 航空写真

八幡大神社

祭神は誉田別尊(応神天皇)・神功皇后・中比売神(応神天后)。
建久年間(1195)に児玉党の一族・牧西四郎広末が武運長久の守護神・相州鎌倉の鶴岡八幡宮を奉遷して当所に祭ったもの。

馬頭観音

藤田小学校の前にある。
仏教における信仰対象である菩薩の一尊である。

諏訪神社

堀田

本庄市立
藤田小
文

地図データ ©2013 ZENRIN - 利用規約







大正院
江戸時代「成田詣」が盛んであり、多くの人が参詣のために利根川を下っていた。そのため、本庄でも成田詣をしたいという願いを受け、成田山新勝寺の本尊の御分霊を大正院に安置した。









